



**盛岡中央高校**  
**PTA会報**

**MORIOKA CHUO HIGH SCHOOL**  
The Transaction of PTA

**Vol.55**

令和3年12月20日  
盛岡中央高等学校  
PTA会長 阿部 広孝  
在校生生徒数833名  
〒020-0122  
盛岡市みたけ四丁目26番1号  
電話019-641-0458  
URL <http://www.chuo-hs.jp>

## 第22回CHUO国際教育フォーラム

フォーラム実行委員長  
佐々良 愛奈(3年1)



今年、「地球規模で考え、地域規模で行動しよう」というテーマと国連サミットで採択されたSDG'sの17の目標を骨格として、プレゼンテーションを発表しました。例年通りであれば、姉妹校の国から多くの生徒・教員が来日しての開催でしたが、新型コロナウイルス感染予防対策のため、オンラインでの開催となりました。今年のフォーラムでは将来私たちの地球がどのように変わっていくのか、今地球規模で起こっている問題に、どのように対処していかなければならないか、身近なことから考える良い機会となりました。

10月29日(金)第22回CHUO国際教育フォーラムが本校会議室で実施されました。今年度のフォーラムは新型コロナウイルス感染症予防対策のため「Zoom」を使用した初のオンライン実施となりました。フォーラム当日はベトナム、マレーシア、インドネシア、台湾、ロシア、アルゼンチンの姉妹校から生徒と教員合わせて約40名が参加しました。今年の発表はSDG'sの3つの目標「気候変動に具体的な対策を」、「海の豊かさを守ろう」、「陸の豊かさを守ろう」について各国の現状と課題、高校生にできる具体的なアクションを



自らの手で地球を汚し、生態系を破壊しているという側面に気付いてほしいです。世界中から参加した姉妹校の生徒達と中央生には、国や文化の隔たりを超え、「未来への道標」になってほしいと思います。そして高校生にしかできないダイナミックでユニークな発想を利用し、今後の世界をより良いものにしていきます。

各姉妹校生徒と中央生が5分間のプレゼンテーションを行いました。中央生は4月からフォーラム実行委員会を立ち上げ、陸前高田へのフィールドワークやSDG'sの探求活動、英語でのプレゼンテーションの準備を行ってきました。参加した生徒からは、「今回共有した内容を世界規模で改めて見つめなおし、解決のために積極的に関わっていく必要があると感じた」、「日本や盛岡の環境問題について詳しく調べたことを世界の人たちに伝えられたことがすごくうれしかった」といった感想が挙げられ、参加した生徒は姉妹校の生徒から多くの学びを得られたようでした。来年度はぜひ盛岡で姉妹校の生徒、先生方と対面でお会いできることを願っています。中央生にとってかけがえのない国際交流体験を届けられるフォーラムをこれからも作り続けて参ります。

(国際課長 佐藤由季也)

**「お詫びと御礼」**

校長  
**千葉 研二**

保護者の皆様には、日ごろより本校の教育活動にご理解・ご協力を賜り深く感謝申し上げます。さて、このたびのコロナ感染に關しましては多大なご迷惑とご心配をおかけしましたこと衷心よりお詫び申し上げます。高校におきまして、生徒の感染のみならず教職員の感染もあり保健所から休校措置指導を受けることとなりました。この間、濃厚接触以外の約三分の一の教職員で保健所との情報交換、PCR検査等の連絡・調整に休日返上で対応して参りました。勤務可能な教員の不足によりオンライン授業も実施することができず、特に大学等の受験や就職試験を控えた高校三年生と保護者の皆様には大きな不安を抱かせることとなってしまいました。このことはひとえに私の監督不行き届きによるものであり、責任を痛感しております。

コロナ感染の影響で学校生活一番の思い出になったであろう海外での研修、修学旅行を今年度も実施することができませんでしたが、大変残念でなりません。また、本校のメインイベントでありますCHUO国際教育フォーラムは初めての試みとして十月二十九日にオンラインで実施しました。規模を縮小して実行委員のみでの開催となりました。アルゼンチンのコレジョワード等7校とプレゼンテーション、意見交換を行いました。この様子については後日まとめたものをホームページに掲載致しますのでご覧いただければ幸いです。

最後になりますが、今後とも本校に對しまして、ご支援、ご協力のほどお願いしてご挨拶と致します。

# PTA昇龍祭

無事に開催されました昇龍祭におきまして、PTA昇龍祭委員の方々の協力をいただき、例年通り模擬店を出店いたしました。

昨年同様「玉こんにやく」「ババヘアアイス」「フルーツサイダー」「フランクフルト」を販売しました。

玉こんにやくは、平成24年から販売しており、PTAで引き継がれているレシピにより、とても美味しく出来上がり、とても人気があるものです。また、コロナ対策として去年から始めた「フルーツサイダー」は、様々な冷凍フルーツにサイダーを注いだもので、何度も買いくる生徒がいるほど人気の商品です。

今年も多くの方々のご購入いただき、14万円を超える売り上げとなりました。売り上げは生徒会費とPTA活動費に半分ずつ寄付しております。昇龍祭委員の方々に、朝早くから調理販売していただきました。ありがとうございます。

(昇龍祭担当 杉田陽子)



# PTA研修

今年度は、昨年からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、昨年に引き続き各種PTA研修は中止を余儀なくされています。また、PTA研修やPTA全大会、クラス懇談会なども中止となつてしまい、保護者様への受験に関わる情報提示などもお伝え出来ない状況にありました。そこで、様々な研修などがリモートに切り替わっている昨今の状況を考慮し、本校においてもPTA研修の代替として、パスワード保護

ページを新たに設定し、保護者様にはそのページへアクセスして頂くという、新しい形での新しい研修の形を考案いたしました。

今年度はベネッセコーポレーション様にご協力いただき、大学入試共通テストをはじめとした、大学受験の変更点やご家庭での取り組みなどについて講演して頂きました。動画をご覧になった方からは好評いただいたいております。来年度は感染の状況を確認しながらとなりますが、再

開できるものはしていきたいと考えております。今後ともご理解、ご協力をお願いいたします。

(研修担当 石川圭一郎)



# 国際交流



国際Rコースでは、コロナ禍の中で実現可能な海外留学や海外研修、国内研修について模索しながらここまでやってきました。昨年度は現3年生が無事にオーストラリア留学を終えて帰国しましたが、今年度の2年生は残念ながらオーストラリア留学は叶いませんでした。ですが、カナダでの受け入れが可能という事で、出発を半年遅らせて今年8月末に9名の生徒がカナダへ飛びだつていきました。新

型コロナウイルス感染防止の観点から様々な制約やワクチンの2回接種、フライト72時間前PCR検査陰性証明(英字)の持参などの事前準備を行いました。まさに職員、生徒、保護者様一丸となつて送り出すことが出来た留学だと考えております。それ以外にも昨年度から導入した英語アクティビティ研修の「キャンピングリッシュ」や日本にいな

させる目的で今年度から導入した「エンパワーメントプログラム」など、コロナ禍にあつて可能な体験の機会を用意しました。12月には福島県のブリティッシュヒルズでの研修も予定されています。日々の授業やアカデミックライニングに加えてこうした研修の中で様々な体験をし、それぞれの生徒が世界へ大きく羽ばたいて欲しいと考えています。

(国際Rコース長 石川圭一郎)



# ICT活用授業

## 数学

数学科では「GeoGebra」というアプリケーションを用いてグラフや図形を投影し、アニメーションを見ながら点やグラフの移動などを視覚的にわかりやすく説明することができています。また、式を入力すればグラフがすぐ表示されることから、家庭学習時にわからない問題があっても自分で確認することができると活用されています。

他教科でも活用されている「ロイロノートスクール」を用いて、教科書の問いを解くときに、生徒の解答を共有し、間違った箇所を探するなどアクティブラーニングを実践しています。また、教員が作成したGeoGebra

のファイルを共有することができると、複雑な問題ではロイロノートで共有し、全員が自由に動かせるようにしています。

SZコースでは昨年度からM進と連携し、「atanari」を導入しました。atanariでは間違った問題の傾向から苦手としている単元を特定し、その単元の復習ができる学習動画が自動で配信され、その後その単元のテストを行います。これを繰り返すことにより、数学の苦手克服に十分効果があると考え



れています。3カ月間と短い間でしたがきちんと復習に取り組みました。  
(数学科 梅木翔太)

## 英語

V・S・Zコースの一・二学年では、十月三日から、タブレットとイヤホン付きマイクを使って、週に1度、フリリピン在住の英語講師とオンラインでマンツーマンの英会話レッスンを実施しています。英語環境が整っており、生徒1人1人がタブレットを持っている、本校の特長を生かしたレッスンです。

共通試験対策や生きた英

語に触れることを目的に導入しましたが、実際にオンライン英会話を体験した生徒は口々に「面白い」「難しいけどやりがいがある」と言っており、ほとんど全ての生徒が意欲的に取り組んでいます。

この経験をもとに、海外に目を向け、英検やTOEICなどの資格取得にも積極的に取り組んで欲しいです。

(英語科 佐藤由季也)



## ダンス

ダンスの授業では、クラス毎に曲を決めてコピーダンスに取り組んでいます。曲決めでは、iPadで実際の映像を検索、視聴しながら話し合いを行いました。そのため、スムーズに曲を決めることができました。現在、お手本となる映像をiPadで見ながら練習中です。生徒は、動画を視聴しながら練習を行うことで動

きのイメージが捉えやすくなっています。また、自分たちの踊りをiPadで撮影し動きを確認することで、細かい動きやフォーメーションを調整することができ、より良いものを作り上げることができています。

(保健体育科 佐々木万実)



## 理科

理科の授業では、実験動画を見たりタブレットを使用したりと行っています。実際に難しい実験を行うと、失敗することもありますが、成功した動画を見ることがより正しく理解することが

できます。また、私たちが授業で実施できないような、ガソリンの爆発などの危険性の高い実験も見ることができ、とても有効的だと思われず。また、波の実験などは、タブレット上で行うことにより、理想的な動きを把握しやすくなる

と考えられます。

また、図やイラストなどをモニタに映すことにより、板書説明の時間短縮につながっています。今後も様々な活用を増やしていきたいと思っております。

(理科 中村祐史)

## 地歴公民

地歴公民科では、従来の黒板やホワイトボードへの板書の代替として電子黒板を利用しています。これまでも空欄付きの独自教材の活用など、工夫をする先生方が多くおりましたが、どうしても情報量も膨大で、生徒達はノートをとること

で手一杯という事も多かったかもしれません。また、様々な事項の関連の説明や視覚に訴える形式の資料などは資料集に頼るところが大きかったと思います。モニターが各クラスにあり、活用していましたが、限定的であったことは否めません。現在では、ロイロノート、パワーポイント等様々なアプリを活用しながら、視覚情報を多く用いて生徒

の興味関心を引き出そうという目的でICT活用授業を展開しています。まだまだ検討が必要な部分は多いですが、ゆくゆくはアクティブラーニングの機会を多く取り入れ、生徒が自主的に思考するような授業を提供するため、今後も有効に活用していきたいと考えております。

(地歴公民科 石川圭一郎)

# クラブ活動報告

## 【卓球部】

●第67回岩手県高等学校新人大会  
卓球競技  
女子学校対抗 2回戦敗退  
女子学校対抗 2回戦敗退  
男子シングルス 2回戦敗退  
安保一芽(2Z3) 2回戦敗退  
五目市信太郎(2Z3) 1回戦敗退  
女子シングルス  
渡邊康恵(1S2) 3回戦敗退

卓球部は現在、男子9名、女子4名で活動しています。今年度は各種大会で学校対抗だけではなく、個人戦においても複数名が県大会に出場することができました。新型コロナウイルス感染症に留意しながら、県内遠征を実施し、強豪チームとの試合経験を積み、1人1人の力を向上させることができました。今年度は年明け1月に県選抜個人戦を残すところとなりました。日々活動を支えて下さる保護者の皆様、周囲の皆様に感謝し各選手がベストを尽くせるよう、練習に励んでまいります。(顧問/吉田幸彦・佐々木美咲)

## 【サッカー部】

●第100回全国高等学校サッカー選手権大会  
盛岡中央11-0花巻青森高校  
2回戦 盛岡中央4-1花巻青森高校  
3回戦 盛岡中央1-4遠野高校  
準々決勝 盛岡中央1-3遠野高校

現3年生の集大成となる第100回高校サッカー選手権大会は、遠野の地で遠野高校に敗れ、ベスト8で敗退しました。今年度は大会3週間前までコロナ休校等があり活動できず焦る気持ちや葛藤があったこととされています。しかし、3年生を中心に最後の瞬間まで状況に惑わされず、落ちこみ目前の一つ一つの物事に集中して取り組み、一つの物事に集中して取り組むことができた。最後の瞬間まで崩すことはありませんでした。ひたむきにプレーし続けた生徒達を誇りに思い、彼らの明るい未来を信じ、本校より送り出したいと思います。(顧問/村田大)

## 【ハンドボール部】

●県秋季大会 ベスト8  
2回戦 盛岡中央46-26花巻南

準々決勝 盛岡中央21-25花巻北  
●県新人大会 ベスト8  
2回戦 盛岡中央36-19久慈  
準々決勝 盛岡中央24-34盛岡一

新チームは二大会共ベスト8という結果になりました。ベスト4に入ることを目指していますが、現時点での力不足は否めません。県高校総体のシード権はベスト4のみ与えられるため、12月24日開催される県選抜大会では、ベスト4を目指して戦いたいと思います。身体・スタミナ・精神面・得点力・DF力・プレイングの精度など多くの課題は明確です。一つずつ改善できるように、個々が高い意識を持ち、日常的に今までの以上の努力を積み重ねていかなければならないと思っております。(顧問/杉田陽子)

## 【バレーボール部男子】

●第21回岩手県私立高等学校バレーボール選手権大会  
予選Aリーグ  
盛岡中央0-2専大北上  
決勝トーナメント  
盛岡中央0-2花巻東  
盛岡中央2-0水沢第一  
東北大会出場(岩手県第三推薦)

●第74回全日本バレーボール高等学校選手権大会盛岡地区予選会  
予選Cグループ  
盛岡中央2-0盛岡北  
盛岡中央1-1盛岡工業  
県大会出場(予選一位通過)

男子バレーボール部は現在、2年生13名、マネージャー3名の16名で活動しています。春大会では予選をグループで通過しましたが、本戦では花巻北高校に敗れ、1回戦敗退という悔しい結果となりました。この敗戦を成長のための最大のチャンスであると自覚し、チームの更なる成長のために日々の練習に励んでいます。

技術だけでなく、精神的な強さも身に付けていくように今後を精進し、一度でも多く勝利し、周囲に応援されるチームへと成長を遂げたいと思います。引き続き応援よろしくお願いたします。(顧問/菊池亨・神隼人)

## 【ソフトテニス部】

●第65回県新人大会  
男子 団体戦  
1回戦 盛岡中央1-2一関工業

新人戦県大会では思うようなプレーができず初戦敗退という結果であった。実力的にも近い相手であったため悔しさの残る試合となりました。来年の高総体まで今の反省を改善し、一つでも多く勝つために努力させたいと考えています。今後個々の意識の向上とメンタル面の強化、技術の向上に励み、目標達成に向け今後も日々精進していききたいと思います。(顧問/梅木翔太)

## 【テニス部】

●令和3年度全国高等学校総合体育大会テニス競技大会(出場(8月))  
女子個人 シングルス  
初戦敗退  
女子個人 シングルス  
初戦敗退

●第42回岩手県ジュニアテニス選手権大会(5月)  
男子個人 18歳以下 シングルス 第5位  
女子個人 18歳以下 シングルス 第1位  
●第43回東北ジュニアテニス選手権大会(7月)  
女子個人 シングルス 第3位  
男子個人 シングルス 第3位  
●松田優斗(3Z3) シングルス 第5位  
●細野木葉(3B1) 第1位  
●松田優斗(3Z3) 第1位  
●松田優斗(3Z3) 第1位  
●松田優斗(3Z3) 第1位

男子ソフトテニス部は現在、2年生8名、1年生7名、マネージャー2名の計17名で活動しています。ほとんどの部員は高校からソフトボールを始めました。岩手県の高校では唯一の男子ソフトボール部のため、大会や練習試合の機会が多くあります。選手たちは限られた練習環境の中で意識を高く持つべく練習に励んでいます。先行行われた東北選抜では1勝する高まってきた。来年は全国大会に勝てるよう冬のトレーニングに励みます。(顧問/佐藤由季也)

男子ソフトテニス部は現在、2年生8名、1年生7名、マネージャー2名の計17名で活動しています。ほとんどの部員は高校からソフトボールを始めました。岩手県の高校では唯一の男子ソフトボール部のため、大会や練習試合の機会が多くあります。選手たちは限られた練習環境の中で意識を高く持つべく練習に励んでいます。先行行われた東北選抜では1勝する高まってきた。来年は全国大会に勝てるよう冬のトレーニングに励みます。(顧問/佐藤由季也)

## 【女子ソフト部】

●第53回岩手県高等学校新人テニス大会  
男子 団体戦  
1回戦 盛岡中央2-3一関高専  
敗退  
1回戦 盛岡中央2-3水沢第一  
敗退  
1回戦 盛岡中央2-3水沢第一  
敗退

三年生の松田が東北大会出場を果たし、同じく三年生の紺野が怪我と戦いながら、インターハイと全日本ジュニアの2つの全国大会出場を成し遂げました。コロナ禍の影響で主たる練習会場である県営運動公園が使えない時期があったりと厳しい条件の中、1年生から3年生までがそれぞれの出場大会で全力を尽くしました。年間、部を牽引してきた紺野、松田、箱崎が引退した後の新チームはまだ課題が多くありますが、今シーズン最後の大会で、シード選手いよいよ大会だったといえ、1年の坂東がシングルス優勝という結果を出してくれました。来シーズンは団体の入賞を目指して冬の練習に励んでまいります。ここまで、PTA会員の皆様には多大なる応援をいただきました。ありがとうございました。(顧問/石川圭一郎)

## 【男子ソフト部】

●令和3年度岩手県高等学校新人大会(2021.10)  
優勝  
●第16回東北高等学校男子ソフトボール選抜大会(2021.10)  
第3位

男子ソフトテニス部は現在、2年生8名、1年生7名、マネージャー2名の計17名で活動しています。ほとんどの部員は高校からソフトボールを始めました。岩手県の高校では唯一の男子ソフトボール部のため、大会や練習試合の機会が多くあります。選手たちは限られた練習環境の中で意識を高く持つべく練習に励んでいます。先行行われた東北選抜では1勝する高まってきた。来年は全国大会に勝てるよう冬のトレーニングに励みます。(顧問/佐藤由季也)

男子ソフトテニス部は現在、2年生8名、1年生7名、マネージャー2名の計17名で活動しています。ほとんどの部員は高校からソフトボールを始めました。岩手県の高校では唯一の男子ソフトボール部のため、大会や練習試合の機会が多くあります。選手たちは限られた練習環境の中で意識を高く持つべく練習に励んでいます。先行行われた東北選抜では1勝する高まってきた。来年は全国大会に勝てるよう冬のトレーニングに励みます。(顧問/佐藤由季也)

## 【女子柔道部】

●第66回岩手県高等学校新人柔道大会  
女子団体戦  
一回戦 宮古高校2-1 遠藤心優(2B1) 阿部光核(1A2) 女子個人戦  
52kg級 3位 遠藤心優(2B1)  
女子柔道部は、県大会優勝を目標に、日々の練習やトレーニングに励んでいます。部員数は少ないですが、お互いに切磋琢磨しながら、目標達成に向けて取り組んでいます。先日の新人戦では、思うような結果を出すことができませんでしたが、11月に行われた選手権大会岩手県大会では全国大会の切符を勝ち取れるように頑張ります。また、来年度の高校総体に向けても、今冬ですっかりと心身とも鍛えていきたいと思います。(顧問/川手祐輔)

●第66回岩手県高等学校新人柔道大会  
男子団体戦 三位  
水口泰吾(2B2)・杉本柊(2B2)・赤坂陸(2A2R)・菊池央太郎(1A1)・山田力丸(1A3)・明戸悠太(1A2)・鈴木輝星(1A3)



本校男子柔道部は、令和3年度高校総体では見事優勝し、昨年の雪辱を果たし、全大会出場権を獲得しました。しかし、全大会直前のPCR検査結果にて部員の1名が陽性により不出場となりました。非常に悔しい思いをしました。3年生らが励まし合い苦難を乗り越え、次の進路に向け前を向くことができました。

10月には、コロナ禍ではありましたが無事花巻市体育館にて新人戦を迎えることができました。その結果、団体戦3位という不甲斐ない成績でした。敗因として、新チームに強く強い軸となる選手がいなく、試合当日に自分達の力が出ないまま負けてしまった。今後としては、今まで自分達を見直し、練習内容見直し次回岩手県選手権大会では、良い結果報告ができるよう一杯頑張りますので、引き続き応援の程、よろしくお願いたします。(顧問/久保田豪)

男子ソフトテニス部は現在、2年生8名、1年生7名、マネージャー2名の計17名で活動しています。ほとんどの部員は高校からソフトボールを始めました。岩手県の高校では唯一の男子ソフトボール部のため、大会や練習試合の機会が多くあります。選手たちは限られた練習環境の中で意識を高く持つべく練習に励んでいます。先行行われた東北選抜では1勝する高まってきた。来年は全国大会に勝てるよう冬のトレーニングに励みます。(顧問/佐藤由季也)

## 【男子バスケットボール部】

●第42回岩手県高等学校選抜バスケットボール大会盛岡地区予選  
一回戦 盛岡中央27-93盛岡三高  
敗者復活戦  
盛岡中央02-531平館  
盛岡中央55-95盛岡商業  
●第67回岩手県高等学校新人大会バスケットボール競技盛岡地区予選  
一回戦 盛岡中央40-68盛岡誠桜  
敗者復活戦 盛岡中央46-53盛岡農業

男子バスケットボール部は現在、2年生10人、1年生12人で活動しています。プレイヤー一人ひとりの強みに磨きをかけて、チームに貢献できるように努力を重ねています。今年度は、展開の速い攻めを中心にメリハリのあるオフエンスと、粘り強いディフェンスを武器としたチームを目指し、今後更に精進していきたく思います。最後にになりましたが、日々の部活動にご支援をいただいている保護者の皆様、本当にありがとうございます。今後とも何卒よろしくお願いたします。(顧問/田村祐太)

## 【剣道部】

●岩手県高等学校新人大会剣道競技(花巻市総合体育館) 11月12日  
個人戦女子  
青刈結花(2Z1) 棄権  
山岸友理奈(1A1) 1回戦敗退

男子バスケットボール部は現在、2年生10人、1年生12人で活動しています。プレイヤー一人ひとりの強みに磨きをかけて、チームに貢献できるように努力を重ねています。今年度は、展開の速い攻めを中心にメリハリのあるオフエンスと、粘り強いディフェンスを武器としたチームを目指し、今後更に精進していきたく思います。最後にになりましたが、日々の部活動にご支援をいただいている保護者の皆様、本当にありがとうございます。今後とも何卒よろしくお願いたします。(顧問/田村祐太)

男子バスケットボール部は現在、2年生10人、1年生12人で活動しています。プレイヤー一人ひとりの強みに磨きをかけて、チームに貢献できるように努力を重ねています。今年度は、展開の速い攻めを中心にメリハリのあるオフエンスと、粘り強いディフェンスを武器としたチームを目指し、今後更に精進していきたく思います。最後にになりましたが、日々の部活動にご支援をいただいている保護者の皆様、本当にありがとうございます。今後とも何卒よろしくお願いたします。(顧問/田村祐太)

**男子**  
 佐々木創成(2Z3) 2回戦敗退  
 瀬川忠義(2Z2) 3回戦敗退  
 大澤 怜(2Z2) 1回戦敗退  
 団体戦男子  
 盛岡中央 不戦勝 水沢  
 2回戦 盛岡中央0-5盛岡第四

剣道部は本年度の高校総体をもって部としての活動を終了しました。選手はそれぞれ地元道場等で研鑽を重ね、大会に出場しています。(顧問/糸井眞一)

**【野球部】**  
 野球部は2年生22名1年生24名の46名で活動しております。夏の選手権予選では、甲子園出場を目指して奮闘してまいりました。しかしながら、10年ぶりに夏バスト8まで勝ち進み、準々決勝では盛岡大学附属高校を相手に終盤まで試合を優位に進めるなど、3年生選手にとつては最後の試合にふさわしい、意地と成長を示すことのできた試合であったと感じております。

新チームは春の選抜甲子園の出場に向けて練習を重ねてまいりましたが、秋季県大会の出場辞退を余儀なくされ、部員保護者指導者、学校関係者、野球部に関わる皆が悔しがり悲しい思いをしました。しかしながら、選手達は決して後ろ向きな言葉を発せず、主将を中心に日常や多くの支えに改めて感謝の心を持って、来夏の甲子園出場に向けて活動を再開しております。

こうした選手達のたくましい姿に、野球道を通じて着実に人間力が養われていると感慨深く思うと同時に、困難な状況を受け入れ、それでも前を向き、新たな目標に向かって自身を高める努力を惜しまない選手達の姿には心を打たれます。

PTAの皆様におかれましては引き続き野球部へのご支援とご協力、ご声援をただけましたら幸いです。応援よろしくお願いたします。(顧問/本間崇朗)

**【バドミントン部】**  
**●新人戦盛岡地区予選**

男子団体 4位  
 男子個人 シングル 8位  
 飯岡健太(2A2R) 9位  
**●新人戦県大会**  
 男子個人 シングル 2回戦  
 男子個人 シングル 1回戦

バドミントン部は、本校体育館で基礎打ち・ノックなど基礎練習や2対1や3対2など応用的な練習を中心として練習を行っています。新人戦では盛岡市で団体4位の結果となるなど、これから県大会での活躍が期待できる選手がいます。また、初心者から始めて新人戦の盛岡地区予選に個人出場する選手もいるなど、自分次第で活躍できる部活動です。(顧問/小笠原正浩)

**【陸上競技部】**  
**●第72回岩手県高等学校新人陸上競技大会** 9/10(金)・12日(日)  
 男子 1500m  
 5位 千葉大門(2A1R)  
 男子 4000m  
 9位 高橋海成(2B2)  
 男子 4x1000m R  
 14位 B決勝(2B2) 渡辺(2Z3)・吉澤(2B2)・藤森(2Z2)・高橋(2B2)  
**●2021岩手県陸上競技選手権大会** 7/2(金)・4(日)  
 女子 2部 2000m  
 1位 藤原和花(2A2R)  
**●第73回岩手県民陸上競技大会** 7/24(土)・25(日)  
 男子 2部 3000m  
 6位 千葉大門(2A1R)  
 女子 2部 走り幅跳び  
 4位 藤原和花(2A2R)

**●第72回全国高校駅伝岩手県予選会** 10/21(日)  
 盛岡四・盛岡北・盛岡中央(千葉大門(2A1)・高橋翔流(2Z1))  
**●第40回岩手県花巻トラック記録会** 11/13  
 男子 3000m  
 第7位 千葉大門(2A1R)

部員は短距離(跳躍・投擲含む)ブロック20名と長距離ブロック6名の二つに分かれ、全国大会・東北大会出場 県大会入賞を目指し日々運動公園を中心に活動しています。

今年度もコロナ禍の大会に、感染予防対策を万全に無観客での開催となり、観客のいない寂しい中成績も低迷すると言う現状ですが、新人戦では長い休校明け直後という厳しい中で、男子1500Mで千葉大門が5位に入賞する頑張りを見せてくれました。また、長距離ブロックの駅伝で

は数年前は県内では強豪チームとして常に2位争いをし、東北大会出場を果たしていたのですが、単独チームでの出場ができず盛岡四高・盛岡北高との合同チームで全国高校駅伝大会に出場しました。本校生徒2名が主要区間を走り20チーム中9番目にゴールすることができました。

これから今年度の結果を踏まえ、来年度は部員不足を解消するとともにチーム力アップを努力し、一人でも多く全国大会・東北大会に出場出来るよう頑張っていきたいと思えます。(顧問/北川 真)

**【スキー部】**  
 スキー部は現在、アルペン5名ジャンプ1名計6名で活動しております。夏場の間は主に陸上練習やウエイト練習など基礎体力作りにも励んでおります。今シーズン目標は岩手で開催されるインターハイで各種目上位入賞をすることです。そのため11月下旬から長野・ペン、ジャンプに分かれて長野や北海道において合宿を予定しております。(顧問/伊東雄一)

**【デイトボール】**  
**●第28回東北地域ジュニアゲートボール大会** 優勝  
 堀間 葉月(1Z1)  
 前川 陽菜(1Z1)  
 所属 水曜クラブH

**【少林寺拳法部】**  
 少林寺拳法部は3年生の男子が引退して、1年生の女子4名で毎週火・水曜日に剣道場で活動しています。少林寺拳法は、中国拳法の1つと勘違いされがちですが、日本では生まれた武術の1つです。名前は拳法ですが、投げ技も関節技も急所打ちも習い、何でもありを想定した武術です。それだと危なそうに感じますが、大会でも実戦的な組手はないため、怪我を心配することはほとんどありません。しかし、護身の技術としては非常に実戦的で、身に使えるものを多く習います。興味のある子はぜひ、まずは見学から始めてみてください。(顧問/中村祐史)

**【障害D】** 出場  
 チルドレンライダ―障害飛越  
 (S&H中障害) 出場  
 チルドレンライダ―障害飛越  
 (S&H中障害) 出場  
 馬名 イオレク・バーニソン  
 馬名 ライオンスマッシュルーム  
**●第14回ソニックレディーズ&ダンディクラシック** 出場  
 LD&DクラブP  
 出場  
 MDノーマルII 出場  
 LDノーマル 出場  
 MCスピード&ハンディネス 出場  
 MDスピード&ハンディネス 出場  
 馬名 グレイトフルマッシュルーム  
 馬名 ライフイズマッシュルーム

**【ゴルフ部】**  
**●第16回岩手県ジュニア秋季ゴルフ大会**  
 男子の部  
 優勝 佐藤佑斗(2B2)  
 3位 後藤諒太郎(2A1R)  
**●第1回岩手県アマチュアゴルフチャンピオン決定戦**  
 241位 菊池諒太郎(2A1R)  
 241位 佐藤佑斗(2B2)  
**令和3年度全国高等学校ゴルフ選手権秋季東北大会**  
 男子の部  
 3位 佐藤佑斗(2B2)  
 6位 菊池諒太郎(2A1R)  
 (2名全国大会出場)  
 14位 後藤羽翼(1A1)  
 女子の部  
 9位 佐々木風揮(1A3)  
**令和3年度東北高等学校ゴルフ選手権大会**  
 男子の部  
 優勝 佐藤佑斗(2B2)  
 8位 後藤羽翼(1A1)  
 15位 菊池諒太郎(2A1R)  
 女子の部  
 13位 佐々木風揮(1A3)

**【芸術部】**  
**●第44回岩手県高等学校総合文化祭書道部門** 新谷三汰(1Z1) 秀作賞  
 入選 佐藤彰真(1S2)  
**●第44回岩手県高等学校総合文化祭美術工芸展(絵画部門)**  
 入選 網取湖花(3Z3)  
 藤原歩未(2A2R)  
 齊藤心愛(2B2)  
 藤原歩未(2A2R)  
 帷子陽向(2S21)  
 新妻萌梨(2A2R)

芸術部では絵画、漫画、書道の部門ごとに、昇龍祭や高総文祭に向けた作品制作を行っています。

絵画はそれぞれの興味に応じて水彩、アクリル、コピックの先生のご指導のもと、技能を向上させながら作品づくりに取り組みんでいます。書道では、今年度マンスに挑戦しました。部員墨液と筆品の構想を練り、大量の墨液と筆品の構想を練りました。(顧問/佐藤律子)

**【吹奏楽部】**  
**●第30回全日本中学校・高校・管打楽器ソロコンテスト東北大会予選** 北上中央(2Z1)・平石茉莉奈(2Z1) 銅賞

吹奏楽部は、高校生11名・附属中学生7名の計18名で活動しております。「数力響鳴(り)くりよくきようしん」力と心を合わせて心を動かす演奏」の目標のもと日々練習しております。昨年度は、岩手県高校総合文化祭吹奏楽部門「岩手県高校吹奏楽大会」B部門にて銀賞受賞、「全日本管打楽器ソロコンテスト」東北大会では金賞を受賞することができました。今後はアンサンブルコンテストでの金賞受賞・上位大会進出を目標に、基礎練習を徹底し、盛岡中央サウンドを追求していきます。(顧問/中森 淳)

**【さんま同好会】**  
 2年連続で盛岡さんま踊りパレードが中止となり、活動も大きく制限された一年でした。唯一パレード出場経験のある3

年生が卒業してしまつと、来年はゼロからの出発です。来年は、盛岡の暑い夏が帰ってくることを期待して、基礎練習に励んでいきます。(顧問/岩崎聡史)

**【出演記録】**  
**●若手放送特別番組明日のさんざんざん** VTR出演(R3・8・11)  
**●イオンモール盛岡15周年祭スティーブ出演** (R3・10・24)  
**●第22回VTRHUUO国際教育フォーラム** VTR出演(R3・10・29)

**【家庭部】**  
 家庭部は毎週月曜日の放課後に「お菓子作り」を中心に活動しています。ワッフル、クレープ、シフォンケーキ等々、メニューも豊富。美味しいお菓子作りを楽しんでいます。夏休み期間には東亜和裁さんの浴衣作り体験に参加し、浴衣を作りました。新しい取り組みとして、コロナ禍で様々な生活が制限される今だからこそ、生徒の皆さんに簡単に美味しいお菓子作りを通して手作りの楽しさを感じてほしいという思いから「お菓子作り教室」を校内で3回開催しました。校外活動としては「子ども食堂ボランティア活動」に参加し、年に数回子どもたちと交流を図り、そのご縁で「いわて女性のステイ・ホームサバ」の生理用品提供事業「活動」にも取り組む、学校でも希望者に配布しています。(12月まで、毎月50セット配布)これからも校外で活動の場を広げていきます。(顧問/藤原陽子)



お菓子作り教室

## ALT 紹介

(Assistant. Language Teacher)

この度、3名のALTの先生方をお招きすることとなりました。新型コロナウイルス感染症の影響で、着任が約1カ月程度遅くなりましたが、無事に着任されました。これから、よろしくお願いいたします！



Daniel Mais  
ダニエル・メイズ先生

〈出身地〉カナダ/ノルウェー  
 〈趣味〉ウェイトリフティング、読書、国内・国外旅行、食べること、ギター演奏、映画鑑賞  
 〈日本で好きなもの〉  
 文化的建造物、お寺、花見、紅葉、お寿司、お祭り、昔話、和食  
 〈メッセージ〉

こんにちは。ALTとして来ましたダニエル・メイズです。ご覧の通り、私は多くのものに興味を持っており、皆さんに多くの新しく、そして面白いこと、特にノルウェーとカナダの文化を紹介できれば嬉しいのです。いつでも気楽に声をかけてください。



Fung Jada  
ファン・ジェイダ先生

〈出身地〉香港で生まれ、カナダ・トロントの近くの町で育ちました。  
 〈趣味〉登山、トレイルランニング、料理、読書  
 〈日本で好きなもの〉  
 絶景で多くの良い登山コースのある岩手山  
 魚介類と海鮮料理、地方の山菜料理、きのこ  
 〈メッセージ〉

盛岡中央高校の生徒の皆さんと先生方と一緒に授業ができることを嬉しく思います。時に楽しく、また真剣な活動を通じて、盛岡中央高校の皆さんから教わりながら、生徒の皆さんの英語学習のゴール到達に向けて楽しみながらサポートします。



Elissa Hoffman  
エリッサ・ホフマン先生

〈出身地〉オーストラリア アデレード  
 〈趣味〉犬と散歩をすること(オーストラリアでジェンソンという名前の犬を飼っています)ベジタリアン料理を食べること、旅行  
 〈日本で好きなもの〉  
 卵サンドウィッチ、どら焼き、抹茶ラテ  
 宮島観光を楽しみました。紅葉の季節の日本の山も好きです。日本のペットでは柴犬が好きです。  
 〈メッセージ〉

盛岡中央高校で英語の授業ができることを嬉しく思います。生徒の皆さんが”Have a go”をスローガンに、英語学習でベストを尽くすことができることを願います。盛岡中央高校の一員として生徒の皆さん、先生方と関わることを楽しみにしています。



### 制服の正しい着方について

11月1日からの衣替えに伴い、制服の正しい着方について、全校生徒を対象に各クラス朝のホームルームで確認を致しました。正しい着方については写真の通りですので、ご家庭でも確認していただければ幸いです。  
 (生徒指導課長 伊東 雄一)

#### ジャケット着用(登校時・職員室入室時)



#### ジャケット着用 (授業時・教室移動時)



### —SGHプログラム—「岩手学I」

10月6日(水)、本校の1年生を対象に、本校SGHプログラム「岩手学I」のフィールドスタディーを実施しました。

岩手県において、企業が地域の課題にどのように取り組み、企業活動をどのように社会貢献に繋げているか理解を深めるため、生徒達は興味・関心に応じ、校内でのオンライン訪問を含めて21のグループに分かれ、各企業を見学しました。

専門的な話が多く、生徒たちは理解するのに時間を要していましたが、地域課題の解決に向けた意識の醸成に向けた意識の醸成を目指し、真剣に傾聴していました。

この体験が、生徒の社会への関心を深め、自ら社会課題を発見しその解決への方策を探る意欲を育む一助となるよう期待しています。  
 (1学年 教育企画 菊池 享)

#### 【生徒感想文】

- 建築コンサルタントについて、最初は何も知らなかったが話をお聞きし、国民の生活を支える大切な職業だと知り、とても尊敬した。
- マイナビのフィールドワークを終え、走り回ったりして大変な仕事と思っていたが、説明をしてくださった方が、とても生き生きと楽しそうに話をしてくださった。営業職は人の気持ちを考えることができるようになるので、今後は相手の立場を考えられる大人になりたい
- ベアレンビル醸成所に行き、販売当初は中々売れずに苦労したが、チャレンジと失敗を積み重ねて成功したと話を聞き、チャレンジすることの大切さを学んだ。今後は、何事にもチャレンジしたい。

編集  
後記

昨年度中止となったCHUO国際フォーラムが、今年度は10月にオンラインにて開催されました。オンラインではありましたが、姉妹校の生徒との交流は、生徒たちにとって大きな財産となり、この経験を今後活かしてほしいものです。今回の発行に際し、ご協力いただいた会報委員の方々、ありがとうございます。